

第 10 回調査企画部会 議事要旨（答申（素案）について）

1．水資源開発から水資源安定供給へのステップアップについて

- ・水資源開発から水資源安定供給へステップアップすることを主眼とした内容となっており、非常に良いテーマ設定である。
- ・水道事業者でも水を安定供給することを目的に、大規模地震対策、老朽化対策、危機的な渇水における用水供給対策を実施している。答申素案はこうした事態に即しており、有意義である。こうした内容について、国民にわかりやすく伝わるように打ち出してほしい。
- ・水資源開発から水資源の安定供給へステップアップは重要な考え方であるため、副題にも記載した方がよい。
- ・安定供給という量から質へのステップアップは分かり易い。高速道路に関する審議会では、造ることから賢く使うことに変える議論をしており、水資源に関しても同じことがいえる。
- ・水資源開発から水資源安定供給へステップアップする前の段階について総括する必要がある。

2．老朽化対策について

- ・人口構造や都市構造を踏まえつつ、優先順位をつけて老朽化対策について取り組むことが重要である。
- ・答申（素案）の冒頭部でも、老朽化対策について言及した方がよい。

3．地下水について

- ・地下水については、過度の取水による地盤沈下などを考慮すると、平常時は取水を抑制し、大渇水などの非常事態時のために利用した方がよいと考えている。
- ・大口利水者の地下水取水への振替は、水資源の問題というよりは、節水しすぎると、水道事業の経営が悪化し水道料金を値上げしなければ成らないといった矛盾が発生するため、個別最適と全体最適の問題である。

4．その他について

- ・ダム貯水池への土砂堆積や、水系の利水安全度を今後どうするか、河川環境保全のための流量の確保や水質保全、大口利水者の地下水取水に伴う地盤沈下等についても、取組課題として明確化することを希望する。
- ・水資源は豊富にあるが、人は地域に集中して住むため、限られたものとなっている。答申の冒頭に現在、限りある水資源を当たり前利用

できている状況は、インフラが健全な状態に保たれている上に成り立っていることを強調して記載した方がよいのではないかと。

- ・限られた水資源を有効に利用するためには、ICT 等の技術の活用が重要である。
- ・水資源の開発から水資源の安定供給にステップアップする際に、対象とする水系を全国にするのか、フルプラン水系とするのか議論が必要。
- ・大規模災害対策、老朽化、ゼロ水に焦点を絞り、水資源開発から水資源安定供給へのステップアップについて強調して記載しているが、水循環などの他の項目も重要ではないか。
- ・水源地域の振興にも貢献するような水資源の安定供給へ向けた取り組みの重要性についても記載した方がよいのではないかと。
- ・取排水システムの再構築など、50 年、100 年先を見据えた中長期的な観点で対策を行うための制度が必要であり、対応できるように答申に記載した方がよいのではないかと。
- ・地域毎の多様な水源や水利用にも着目し、地方の工夫を促す水資源政策を考えて欲しい。